

高出二区

かわら版

ちょっと先取り

2年目の小野区政

令和8年度の区政運営において、二区では「きくばり」「ささえあい」「つながり」をキーワードに掲げ、地域の結束強化と持続可能な運営を目指す。区政は任期2年のうち本年度が2年目となり、これまでの取り組みの総仕上げの年と位置づける。

具体的には、限られた予算の適正利用を図るため、参加者が少数にとどまっている秋の行楽事業の見直しを検討。廃止も視野に入れ、その分の財源を多くの住民が参加できる夏祭りなどへ振り向ける方針だ。

また、区長や副区長など役員の担い手不足も課題となっており、業務の効率化や負担軽減を進めることで、現役世代でも無理なく担える体制づくりを模索する。地域活性化との両立を図りながら、将来につながる区政基盤の整備を進める考えだ。



高出二区 団体長・班長会議

今年1年の振り返りと今後の課題

三月十四日、高出二区において団体長・班長会議が開催され、今年一年の活動を振り返るとともに、今後の課題について意見が交わされた。冒頭の区長挨拶では、「問題の先送りをしない」との方針が示され、地域課題に対し主体的に取り組む姿勢が強調された。前半では今年度の活動報告が行われ、防災や環境整備、地域行事など多岐にわたる取り組みが共有された。後半は各組に分かれてのディスカッションが実施され、それぞれの実情に応じた率直な意見交換が行われた。

協議では、班編成の見直しやゴミステーションの管理、防犯灯の整備、役員の負担軽減、組行事への助成など、生活に密着した課題が挙げられた。今後はこれらの課題を整理し、具体的な対応策の検討を進めていく方針である。地域の持続的な発展に向けた一歩となる会議となった。



節目の春・・・だからこそ!!

新しい制服や生活に胸が弾む一方で、どこか落ち着かない――春はそんな季節です。人や車の動きが増えるこの時期、子どもたちの通学やお年寄りの外出には、いつも以上の交通安全への気配りが欠かせません。また、朝晩の冷え込みと日中の暖かさの差は体に負担をかけやすく、知らぬ間に疲れがたまることもありま。無理をせず、しっかりと休むことも大切です。

さらに、花粉や環境の変化による体調不良、生活リズムの乱れにも注意が必要です。外出後の手洗い・うがい、十分な睡眠を心がけましょう。防犯面でも、見慣れない人や出来事に対して少しだけ慎重になる意識が安心につながります。

春は始まりの季節。少しの「きくばり」が自分や周りの人を守り、「ささえあい」と「つながり」を育てます。気持ち弾む人も、少し疲れを感じる人も、どうか無理のない一歩を大切にお過ごしください。